

シリーズ ▶ 第1回 ◀

成羽病院の建て替え



現在の成羽病院

昭和29年、旧成羽町の町立病院として誕生した成羽病院（現在の「高梁市国民健康保険成羽病院」）は、町民や近隣住民など、地域医療の拠点としてその役割を果たしてきました。

昭和44年、現在の姿に整備。40年以上経過した今、施設は老朽化し、耐震化の必要性も生じてきました。

また、過疎化による人口減少や高齢化、医師・看護師不足、さらに国の指導による公立病院改革など、さまざまな問題・課題がある中、病院の建て替えについては今まで多くの議論が交わされてきました。

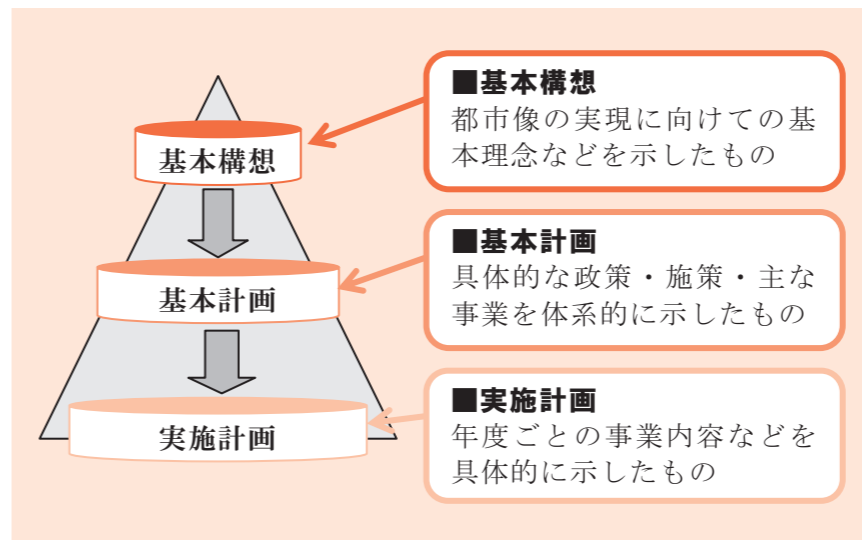
成羽病院

建て替えまでの経緯

市議会の一般質問では、新市合併後、今年9月まで24回あった定例会で、実に今まで延べ78人の市議会議員が市立成羽病院について登壇し質問しました。市民の話題の中心的存在だったと言えるでしょう。

こうして何度も議論を重ねてきた成羽病院の建設事業ですが、いよいよ今年度から事業着手し、平成24年8月末の完成を目指し整備を進めていきます。

【新総合計画の構成】



市は、平成22年度から31年度までの10年間にわたるまちづくりを円滑かつ着実に進めていくため、高梁市新総合計画を策定しました。この新総合計画で、今後取り組むこととしている主要事業について、今回からシリーズで詳しく説明していきます。

都市像

ひと・まち・自然にやさしい高梁

基本理念

人の知恵とふるさとへの思いを活かしたまちづくり

新たな発想や積極的に挑戦する姿勢を大切にすまちづくり

自助・互助・公助を基本にした協働と連携のまちづくり

新総合計画の詳しい内容につきましては、市のホームページ (<http://www.city.takahashi.okayama.jp/>) に掲載していますのでご覧ください。

■問い合わせ 企画課企画係 (☎②10208)

市新総合計画の主要施策について
都市像「ひと・まち・自然にやさしい高梁」の実現に向けて